

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月17日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		国の定めた基準以上の広さを確保し、適正になるよう療育と余暇の部屋を分けています。また、三密にならないよう取り組んでいます。	今後も定員に合ったスペースの中で療育と余暇とで異なる活動スペースを分けてメリハリを持たせ、三密にならないよう努めて参ります。
	2	○		国の基準を満たし、基準以上の人員と児発管、保育士、児童指導員等の有資格者を配置出来るよう配慮し、ローテーションを組んでいます。	今後も継続して、適切な配置に努めて参ります。
	3	○		屋内には段差が無いよう工夫をしていますが、事業所が1階と2階に分かれた構造であるため階段の上り下りの際は、複数で対応する等の配慮を欠かさず行なっています。	今後も、一人ひとりに応じた適切な環境設定に努めて参ります。
	4	○		毎日アルコール消毒や掃除を行っています。また療育の部屋と余暇の部屋を分け活動に合わせた空間の演出に工夫をしています。	今後も丁寧な掃除や消毒を継続し、利用児童が安全快適に過ごせるように努めて参ります。
業務改善	5	○		毎日の引継ぎやリフレクシオン会議を行う事で、振り返りや業務改善に努めています。	今後も同様に引継ぎやリフレクシオン会議等を行い、業務改善に努めて参ります。
	6	○		評価表に書かれているご意見を基に改善するように努めています。また、事業所へ玄関にご意見箱を設置し、広くご意見を求めています。	今後も同様に評価を参考に業務改善に努めて参ります。
	7	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開し、また事業所内にも掲示しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公開を行い、事業所の自己評価・保護者様からの評価を踏まえ、サービスの質の向上に役立てて参ります。
適切な支援の提供	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後課題として検討して参ります。
	9	○		定期的に社内研修を行っています。地域の研修にも参加して、職員間で共有しています。	今後も、研修を通して職員の資質の向上を図って参ります。
	10	○		計画を見直す際には必ずアセスメントを適切に行き、計画の更新と作成に臨んでいます。	今後も継続してアセスメントを適切に行き、計画書を作成して参ります。
	11	○		統一化されたアセスメントシートを使用し、情報は個人ファイルに保管して活用しています。	今後も継続して使用し適切にアセスメントツールを活用し児童の状況把握に努めて参ります。
	12	○		児童発達支援ガイドラインに沿った支援が必要な項目で適切に選択し、具体的な支援内容を設定できるように努めています。	今後もガイドラインに沿って項目の選択・支援内容が適切になるよう努めて参ります。
	13	○		計画に沿った支援を行っています。また、家庭と連携を図りアドバイスを行っています。	今後も児発管を中心に計画に沿った支援ができるよう努めて参ります。
	14	○		個別支援計画時や活動プログラムの作成時には、職員全員で話し合いをしています。	今後も児発管を中心に個別支援計画や、プログラム立案には職員全員で関わり、より良い支援ができるように努めて参ります。
	15	○		毎日、引継ぎの中で話し合いを行い、プログラムを工夫して固定化しないよう集団療育等も取り入れています。	今後もプログラムが固定化しないよう職員間で話し合い、工夫に努めて参ります。
	16	○		児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせ合わせた支援計画を作成しています。	今後も保護者様と共通理解のもと、特性や状況に応じて支援計画を作成して参ります。
	17	○		毎日の引継ぎの中で、前日の選択を振り返り、情報を共有し、その日の状況に合った支援を行っています。	今後も同様に、毎日引継ぎを行い、確認して参ります。
関係機関や保護者との連携	18	○		その日の内に伝えるべきことは出勤している職員全員で振り返り、翌日には当日不在の職員にも打ち合わせで情報共有を行っています。	今後も同様に、職員全員で振り返りと共有を行って参ります。
	19	○		日々の療育内容は必ず当日に記録し、職員間で見直しを行い、検証・改善に取り組んでいます。	今後も同様に記録を取り検証・改善に繋げて参ります。
	20	○		半年以内を目安に、モニタリングを定期的に行い、児童の状況や課題、保護者様のご意向を踏まえた計画の見直しを行っています。	今後も同様にモニタリングと計画の見直しを行って参ります。
	21	○		児童の状況に精通している児発管が担当者会議に参加しています。	今後も児発管が参画して参ります。
	22	○		保育所等の関係機関と密に話し合いを行い、連携を図り、統一した支援が行われるようにしています。	今後も更に関係機関と連携した支援が行なっていけるように努めて参ります。
	23	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索して参ります。
	24	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索して参ります。
	25	○		書面や担当者会議にて、情報共有を行い相互理解を図るよう努めています。	保護者様のニーズに合わせて、今後も関係機関と連携して参ります。
	26	○		就学前に学校で相談員や各関係機関と共に会議を行い、共通理解に努めています。	保護者様のニーズに合わせて、今後も関係機関と連携して参ります。
	27	○		専門機関と連携し、担当者会議等に参加し、相談支援専門員等から助言を受けています。	今後も同様に、専門機関との連携を図って参ります。
保護者への説明責任等	28	○		コロナ禍の影響もあり、交流や活動の機会は設ける事ができませんでした。	コロナ収束後に、保護者様のご意向もあがりながら受け入れ可能な施設があれば企画や催しへの参加を検討して参ります。
	29	○		コロナ禍でもあり、参加機会はありませんでした。	コロナ収束後、研修が行われる際は、積極的に参加して参ります。
	30	○		送迎時に児童の状況や課題等を報告し、連絡ノートも活用して共通理解を深めています。	今後も同様にあらゆる機会を通じ共通理解を図って参ります。
	31	○		保護者様のお悩みやご相談に乗り、寄り添う支援を心掛けています。	今後も継続して、保護者様のお悩みに寄り添う支援に努めて参ります。
	32	○		契約時に重要事項説明書、契約書を通し、丁寧な説明に努めています。契約時のみならず保護者様のご要望がある時は、再度詳しく丁寧にご説明しています。	今後も詳しく説明を行いご理解頂けるまで丁寧なご説明を行って参ります。
	33	○		ガイドラインに基づいた支援計画を作成し、支援計画について、詳細に説明を行った上で、同意を頂いています。	今後も保護者様との共通理解の元、計画を立案して参ります。
	34	○		子育てについてご相談があった場合には職員全員で話し合い、より良い助言や支援を行えるように努めています。	今後も保護者様のお話をよく傾聴し、丁寧な対応を心掛け寄り添えるよう努めて参ります。
	35	○		保護者様同士の交流機会を企画しておりますが、コロナの影響があり、今年度は参観日や交流機会を設ける事ができませんでした。保護者様から掲示物等の依頼があれば皆様の目に留まる場所に掲示しています。	コロナ収束後、ご意見を頂きながら、保護者会等で保護者様同士が共に交流できるような機会を検討して参ります。
	36	○		現時点までに重大な苦情を頂くことはありませんが、ご意見箱を設置し、ご意見があった場合速やかに対応させて頂くよう努めています。	今後も同様に、ご意見や申し入れなどには迅速かつ丁寧に対応して参ります。
	37	○		季節ごとに「おたより」を発行しています。また公式 Web サイトのブログで月に1回程度、事業所の活動内容をご紹介します。サイトについては保護者様へご案内を配布しています。	今後も定期的な「おたより」や Web サイトでのブログでの活動報告などは継続して参ります。
非常時等の対応	38	○		個人情報に記載された書類の破棄はシュレッダーを利用し個人ファイルの保管については、鍵付の書庫にて保管・管理しています。	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を行って参ります。
	39	○		保護者様や利用児童に合わせて分かりやすい説明や伝達ができるように努めています。	今後も口頭での連絡や相談対応だけでなく、重要なことは書面にてお伝えし、児童や保護者様にご理解頂けるように配慮して参ります。
	40	○		今年度は、コロナ感染症予防の観点から、行事に地域住民をご招待する企画を行うには至りませんでした。	今後コロナの事態が収束した際には、保護者様のご意向を確認して、同意を得た上で企画を検討して参ります。
	41	○		保護者様に各種マニュアルをご覧頂けるよう、事業所内に掲示しております。各種マニュアルを元に避難訓練を計画しています。	今後も保護者様にも都度周知し、確認しやすいように掲示場所への配慮も行って参ります。
	42	○		年度初めに年間計画を立て、定期的に地震、火災、不審者等必要な訓練を行っています。	今後も、児童の命を守ることを第一に避難、火災、地震、風水害についての避難訓練を継続して参ります。
	43	○		アセスメントの機会に丁寧に聞き取りを行い、職員全員で周知徹底しています。	今後も継続して記録作成を行い、再発防止に努めて参ります。
	44	○		アレルギーが疑われる児童に関しては、保護者様と情報共有し、職員間で把握に努めています。	アレルギーについては細心の注意を払い、保護者様へも医師の指示書を依頼するなど、情報の把握に努めて参ります。
	45	○		事例報告書を作成し、都度職員全員で振り返りを行い、周知徹底しています。	今後も継続して記録作成を行い、再発防止に努めて参ります。
	46	○		事業所内で職員研修を行い虐待防止について周知に努めています。	今後も研修を続け、虐待防止について知識を深め適切な対応への研鑽に努めて参ります。
	47	○		原則として契約書で身体拘束は禁止となり、必要となる場合には、児童や保護者様に十分なご説明を行い、承諾を得て計画に記載するようにしています。	今後も原則として、身体拘束は行わない基本姿勢を守り、身体拘束が身行わない場合等は、あらかじめ書面により保護者様から同意を得て、また、個別支援計画にも記載して参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。